

「カシランジア養護学校通学用バス整備計画」 供与式



カシランジア APAE 会長と総領事

2007年9月3日、カシランジア APAE において、草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式が行われ、西林万寿夫総領事、同団体のカルロス・アウグスト・ダ・シルヴァ会長他関係者約 150 名が参加しました。

カシランジア市入り口から APAE の式典開場までマイクロバスを先頭に車列パレードが実施され、祝砲とともに新しいマイクロバスが市民に紹介されました。



APAE に到着する総領事

式典において、APAE 会長は「日本政府のおかげでマイクロバス購入という APAE にとって一つ大きな夢が実現した。APAE 関係者にとって嬉しい日である。」と謝辞を述べました。

バウタザール・ソアレス・シルヴァ・カシランジア市長はカシランジア市は総領事訪問を歓迎し、APAE の必要性にかなうマイクロバスの贈呈についてとても光栄に思うと述べました。なお、将来カシランジア市の学生が日本で留学し、技術的知識を習得できることが可能であれば幸いであると謝辞を述べました。



カシランジア APAE 関係者が着用する感謝の気持ち

アニータ・ナンバ APAE 理事夫人から「今回のマイクロバス贈呈に尽力してくれた総領事と関係者の方々に、そして日ごろから支援と理解を示してくれる市民の方々に深く感謝する。APAE の大きな問題は子供たちを送迎するマイクロバスであり、15 年間に亘り使用してきた現在のバスは故障、修理などで子供たちに多大な迷惑をかけた。悪天候の時などは停留所まで歩いていく必要があり、車椅子の生徒にとっては、バスの乗降りが困難であった。このような問題を日本政府から贈られたマイクロバスが解決してくれると期待する。日本政府をはじめ協力してくれた皆様に深く感謝する」旨の挨拶がありました。

西林総領事は「貴団体のバスは故障が多く、また車椅子昇降機やシートベルトもなく、安全面の問題が生じており、さらに同バスが大型であることから、細い道に入れず、雨の日には車椅子を利用する生徒の送迎が困難であるという報告を受けており、このたびの我が国の無償資金協力により、貴団体に送迎用マイクロバスを購入することで、生徒が安全に通学できるようになることを期待する。」旨挨拶しました。

関係者の挨拶の後、プレート除幕式、APAE 関係者をの懇談会が開催されました。

案件名：「カシランジア養護学校通学用バス整備計画」
被供与団体：カシランジア障害者を支える親と友の会（APAE）
プロジェクト実施地：南マト・グロツソ州カシランジア市
契約署名日：2007年3月12日

供与限度額：約 174.244,00 レアル

案件概要：カシランジア APAE は 1986 年に設立され、79 名（計画提出現在）の身体・知的障害者が通学している。その生徒は 91 年型の所有バスで搬送されているが、故障が多く、生徒が通学できないこともありました。そのバスには車椅子昇降機やシートベルトも取り付けられていなく、安全面の問題が生じている。また、同バスは大型であることから、細い道に入れなく、雨の日には車椅子を利用する生徒の搬送が困難です。

この度の我が国の無償資金協力により、送迎用マイクロバスを購入することで、生徒が安全に通学出来るようになります。

供与品目：車椅子昇降機付のマイクロバス



91年型の所有バス



新マイクロバス



新マイクロバス
内面